



はくろ（白鷺）の散歩Ⅵ

令和6年8月28日
～校長室の窓から～ 令和6年度 No.9
神奈川県立平塚中等教育学校
校長 松本 靖史

【夏休みの講習】

令和6年7月19日（金）から夏季休業が始まりましたが、7月22日（月）から早速夏期講習が始まりました。

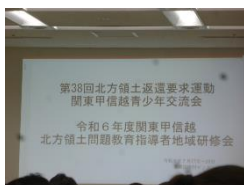


本校職員は、1年生から6年生までたくさんの講座を用意しました。講座の多くは希望制ですが、いくつかの講座は指名制です。生徒たちは、先生たちが工夫を凝らした講座を有効に活用していました。（前期課程の生徒たちの参加率の高さにビックリ！）

【部活動以外でも生徒は活躍しました】

夏休み期間中に、生徒たちは部活動で様々な活躍をしました。詳しくは本校ホームページの「各部大会結果報告」をご覧ください。ここでは部活動以外の活動を紹介します。

7月28日（土）・29日（日）に、神奈川県をホストとして湘南国際村をメインに開催された「第38回北方領土返還要求運動関東甲信越青少年交流会」に、2年生4名が参加しました。各都県及び政令指定都市から参加した代表生徒たちと「北方領土問題の解決策～わたしたちの WinWin プラン～」を考えました。



8月9日（金）に、東京で開催された「拉致問題に関する中学生サミット」に、3年生1名が参加しました。このサミットの内容は、NHKのニュースでも放映されましたが、林官房長官のあいさつ、拉致被害者の家族会代表横田拓也さんの講演を聞いたのち、プロのクリエイティブディレクターの指導により、拉致問題に関するメッセージ動画の絵コンテをグループで行いま



した。どの生徒も、拉致問題は人権問題であるという横田拓也さんのメッセージをきちんと受け止めて絵コンテの作成に取り組んでいました。

夏休み明けにはなりますが、8月26日（月）に中教育事務所で開催された「第22回中地区児童生徒が語り合う集い」には、4年生2名が参加しました。参加者は、「元気な学校にするために 今わたしたちができること」を話し合いました。2名の生徒は、司会やグループ協議のファシリテーターを務め、中学生や小学生をリードするなど大活躍でした。



【夏の職員研修会を行いました】

8月22日（木）の午前中には、認定NPO法人エンパワメントかながわの阿部真紀さん、羽根坂恵美子さんを講師にお招きし、「子どもの人権～自己肯定感を育てる」というテーマで校内人権研修会を実施しました。研修は参加型ワークショップの形式で行われ、この研修を通して「自分の人権を守ることができて、相手の人権も守ることができる。まず自分の人権を守ることから。」という根本的なことを確認することができました。



また、同日の午後には、河合塾学校事業推進部の佐原恵里さんを講師にお招きし、昨年度に神奈川県教育委員会が抽出て実施した「生徒学力調査」の結果をもとに、リテラシーやコンピテンシーについて研修会を実施しました。説明後の職員の協議を通して、本校の生徒の平均値が高いのは、行事ごとの振返りをきっちりやっているからではないかとの仮説が導き出されました。今後この部分は引き続いて研究していきたいと思ひます。



このほか22日の午後には、高山総括教諭を講師にして学習評価の研修会も行いました。